

山田学区 社協だより

第74号

発行 山田学区
社会福祉協議会

人権研修

今年の人権研修は、九月二十四日、亀岡市の関西盲導犬協会にて盲導犬について学んできました。盲導犬のふるさと、亀岡市の周辺部の少し人里離れた山の中で、きれいな施設です。施設への道幅が狭く、大型バスは通れないので、約一、二キロメートルを歩いて施設に向かいました。隣には警察犬の訓練場もありました。盲導犬と言いますと、我々のイメージは、利用者と一緒に歩いているというより、彼の足元でじつと座って待っている姿を想像してしまします。そして、このように訓練し、躰けられているものと思っていました。

でも、これは犬の性格によるところが大きく、「ああ今は暇だな、そんならこの間は、昼寝でもしよう」と



こしておこう」と思い、じつといてくれる犬が、盲導犬として大切な性格だそうです。もちろん、じつとして待っている訓練もするのでしょけだね。

犬の訓練は、できたら「ほめてあげる」を繰り返して、犬が楽しく理解できるように訓練をしています。階段の前では立ち止まるように、障害物は避けて歩くように訓練しているそうですが、交差点の信号機の色を判断し、進め、止まれば出来ないそうです。これは、盲導犬のユーザーが、周りの状況を判断し、進め、止ま



れを指示しているそうです。ですから、こんな状況の盲導犬に出会ったらさびげなく「何かできることがありますか」と声を掛けてあげるのが良いとのこと。盲導犬は、厳しい訓練の上、張り詰めた日常を送っていると思ひ込んでいたのですが、楽しく訓練を受け、ユーザーとの信頼に基づき、楽しく生活しているようです。なんとなく親しみが持てるものだ、ほっとしました。盲導犬は無償でユーザーに貸与され、訓練も、すべて寄付による運営だそうです。

十月二十一日(月)、近江八幡市の休暇村近江八幡へ行ってきました。

山田学区からはそんなに遠くありませんが、風景を見ながらゆつくりとバスに揺られて、ゆったりとした時間の流れを体験できるのも、この旅行のひとつの特徴となっています。

ひとり暮らし 高齢者バス旅行

湖の向こうに沖島眺めながら、みんなで楽しく昼食を食べたり、語らいに花を咲かせたり、また、思いおもいに温泉につかり、リラックスティアを休めました。

おかげで新しい仲間の輪をひろげ、親睦をはかることができました。

キラキラキッチン やまだっ子

去年から始めた活動ですが、名称を「わんぱくキッチン」から「キラキラキッチンやまだっ子」と改めました。目的としては、

- ・子どもの居場所づくり
- ・地域との繋がりを広げ、地域の子ども達という意識を育てたい。
- ・今はやりのファーストフードではなく、皆で調理し料理を作ることで、一人で食事をする孤食をさけ皆で楽しく食べる場を提供できればと思っています。

第一回目、六月十五日に実施、牛丼づくりをしました。併せてミニサラダとシャーベットも作りました。

第二回目は八月二十日、カレーライスとデザートを作りました。食後には、皆でゲームを楽しみながら、繋がりを深められればと考えています。



編集後記

令和という新しい年号を迎え新しい時代が始まると期待をしているところです。

が、どうも印象に残っていますのは、台風十九号による強烈な風による電柱の倒壊による停電や、雨による河川の氾濫で、東日本中が水没してしまった印象ですね。多くの方がボランティアとして被災地に向いておられるようですが、そのボランティアを受け入れる体制を整えるという、時間がかかったようです。

山田学区社会福祉協議会はお互いに支え合って安心して暮らしていけることが出来る地域を目指して、「お互いさま」の気持ちで通じ合える山田を目指しています。



■開催主体
地域の団体、市社会福祉協議会、地域包括支援センターなど。

■メンバー
各学区の実情に合わせて選定します。

○地域：まちづくり協議会、学区社会福祉協議会、民生委員児童委員等。

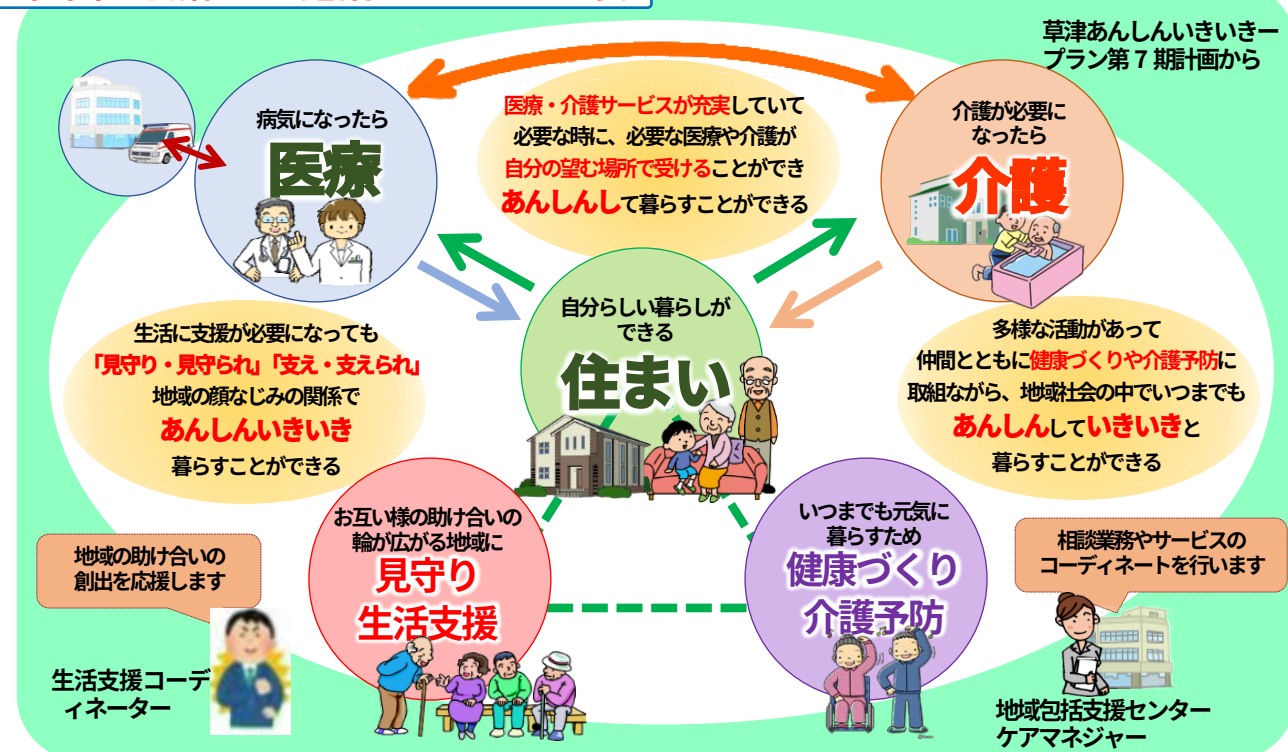
山田学区では、福祉委員なども含めて、出身町内会をも考慮し出来るだけ広くなるようをお願いしている。

○医療・介護：医師地域の開業医、介護サービス事業者ケアマネジャー、訪問看護、小規模多機能型居宅介護等

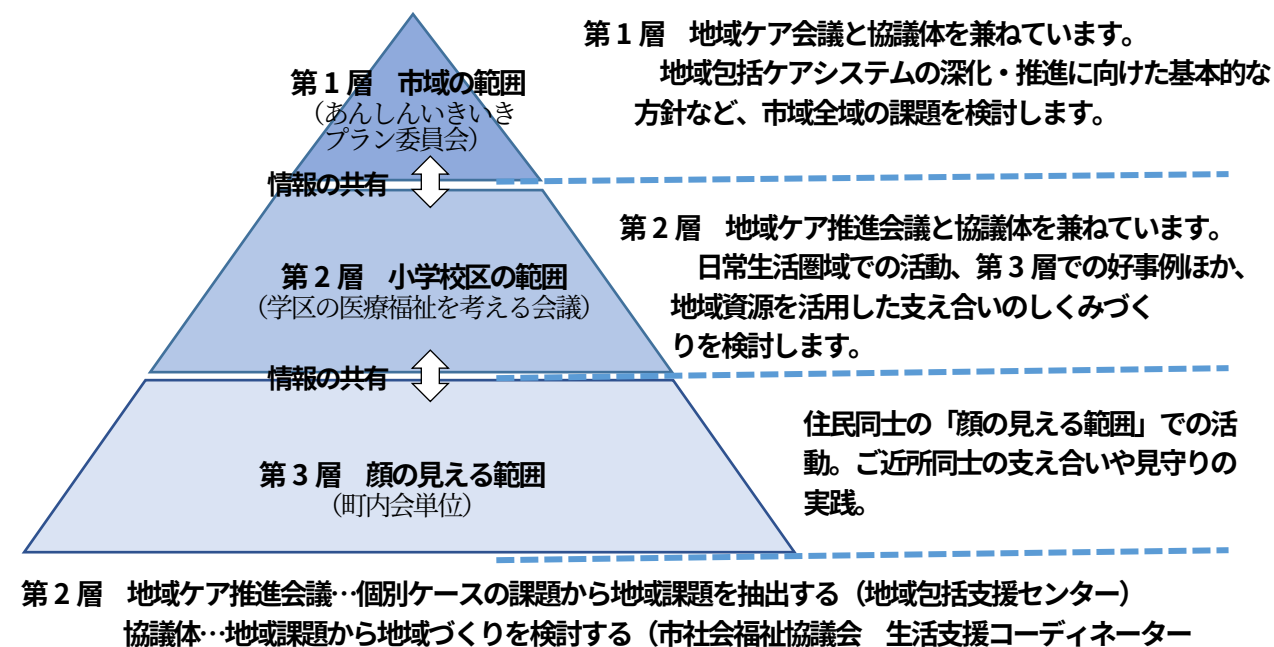
○市社会福祉協議会、地域包括支援センター、市

■実施回数
各学区年2～3回程度

草津市が目指す地域包括ケアシステムの姿



学区の医療福祉を考える会議の位置づけ



山田ふれあいまつり



十月二六日の山田ふれあいまつりには、市社協キャラクタのふくちゃんか応援に駆けつけてくれました。子ども達に大人気で、ふくちゃんは子どもたちと一緒に取り囲まれていました。

山田学区社会福祉協議会、活動の広報啓発を行うとともに、共同募金をお願いいたしました。多くの方々に協力をいただきありがとうございます。

学区内の障害者施設である

学区社協に

寄付いただく

また、このふれあいまつりにおきまして、自治連の南ブロック様から、当学区社協に、模擬店の収益の御寄附をいただきました。本当にありがとうございます。

山田学区の

医療福祉を考える会議

山田学区の医療福祉を考える会議は、平成二十五年度に始めまして、現在まで十七回実施してまいりました。今回は、この会議の目的や仕組みなどを改めて確認してみたいとおもいます。次ページの図も併せてご覧ください。

この会議では、学区の関係者、医療・介護・福祉の関係者が一堂に会し、地域の現状や課題を共有し、解決に向けた地域の活動の充実または創出を進めていくことで、地域における支え合いの仕組みをつくることを目的とします。

3頁へ続く。



山田学区医療福祉を考える会議の例